

中学校 技術・家庭科【家庭分野】

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

育成をめざす資質・能力を三つの柱により明確化し、整理しました。

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、**よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な**基礎的な理解**を図るとともに、**それらに係る技能**を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、**これからの生活を展望して課題を解決する力**を養う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

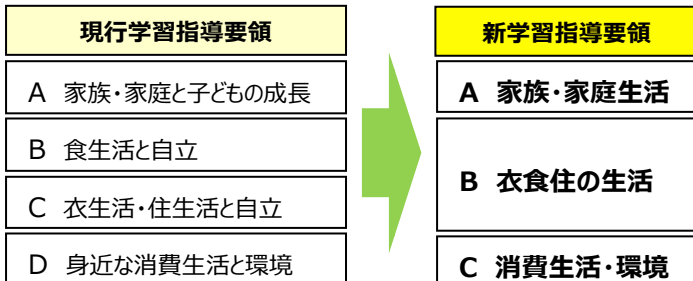
自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、**家族や地域の人々と協働し**、よりよい生活の実現に向けて、**生活を工夫し創造しようとする実践的な態度**を養う。

「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ」とは？

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、**協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築**等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること。

内容構成の改善

小学校・中学校ともに、3つの内容とし、系統性の明確化を図りました。



～育成する資質・能力の明確化～

各内容の各項目はア・イの2つの指導事項で構成

ア「知識及び技能」の習得

イ「思考力・判断力・表現力等」の育成

【例】 B 衣食住の生活

- (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取扱い、製作が適切にできること。
- イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた製作計画を考え、製作を工夫すること。

改善のポイント

知識及び技能を実生活で活用できるようにするための内容の充実

「A 家族・家庭生活」の(4)

「B 衣食住の生活」の(7)

「C 消費生活・環境」(3) **【新設】**

「生活の課題と実践」の一層の充実

左記の三項目のうち、一つ以上を選択し、他の内容と関連を図り履修。

実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮。

CHECK!

社会の変化に対応した各内容の見直し

「A 家族・家庭生活」 少子高齢社会の進展への対応→ 幼児との触れ合い体験などを一層重視

高齢者など地域の人々との協働、高齢者との関わり方 **【新設】**

「B 衣食住の生活」 食育の一層の推進、グローバル化への対応→ 調理に関する内容の充実（煮る、焼く、蒸す等）

和食、和服など日本の伝統的な生活についても扱う。

「C 消費生活・環境」 持続可能な社会の構築への対応→ 計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容

消費生活・環境についての課題と実践 【新設】

CHECK!

2 中学校技術・家庭科【家庭分野】における授業づくりのポイント

【例】（衣生活） 題材名「生活を豊かにするための工夫をしよう～布を用いた製作～」第2学年 全10時間

ポイント1

家庭分野における「主体的・対話的で深い学び」の実現とは？

- 「主体的な学び」 ・自分の生活の問題を見つめ直し、学習の見通しや生活の改善の見通しをもって課題の解決に向けて取り組む。
- 「対話的な学び」 ・家族や地域の人々、友だちとの会話や適切な布の製作に関する資料を通して自分の考えを明確にする。
・グループで意見を交流する活動を通して、よりよい方法を見いだそうとする。
- 「深い学び」 ・課題解決に向け、見方・考え方を働かせて考えたり構想したりする。
・学んだことを活用し、実生活をよりよくするために、新しい課題を見つけて解決しようとする。

ポイント2

生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成

実生活と関連を図り、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する学習活動を効果的に取り入れることが必要。

※学習過程を通して、課題を解決できた達成感や、実践する喜びを味わい、次の学習に主体的に取り組むことができるようにします。

※3年間を見通して題材を計画的に配列し、課題を解決する力を養います。

ポイント3

ICTの効果的な活用

【学習過程の参考例】		指導計画例	ICTの効果的な活用
生活の課題発見	生活の中から問題を見出し解決すべき課題を設定する。	「生活を豊かにするために、あるといいなと思うものを考えよう！」 ①生活を豊かにするために、どんな物（布を用いた物）が必要か考える。 ・身の回りの生活を快適にしたり、便利にしたり、自分の家族、地域の人々の生活を豊かにするものを考える。 ・資源や環境に配慮した製作となるような工夫を考える。 ※A家族・家庭生活、C消費生活・環境の学習と関連を図ることも考えられる。	画像、動画資料の提示（課題確認） インターネット（情報収集、課題設定） インターネットを活用し、資源や環境に配慮した製作方法について調べます。
	知識及び技能を習得し、解決方法を検討する。	「布を用いた物の製作計画を立てよう！」 ②製作に必要な材料や用具、作業工程や時間などの見通しをもつ。 ・目的に応じた縫い方や製作方法、ミシンやアイロン等の用具の安全な取り扱いについて理解し、練習する。 ※個の技能の習得状況に応じた指導の充実させる。	拡大、動画機能の活用（内容理解） タブレット端末（作業工程確認）
課題解決に向けた実践活動	計画をたてる。 知識及び技能を活用する。	③製作の計画を立てる。 ・学んだことや経験を活かし、製作の計画を立てる。 ・グループで意見を交流し、計画を改善する。 「計画を試してみよう！～布を用いた製作～」 ④⑤⑥⑦布を用いて製作する。 ・製作の計画を実行し、製作方法を検証する。 配慮事項 製作、制作、育成、調理等の実習や観察・実験、見学、調査・研究など、 実践的・体験的な活動を重視します。	インターネット（情報収集） ソフトウェア（計画作成） タブレット端末（交流） 動画資料の提示（作業工程確認） タブレット端末（交流・検討・記録） 動画資料を活用し、ミシンの使い方など、作業中に工程を再確認できるようにします。
実践活動の評価・改善	結果を評価する。	⑧実践を振り返り、計画を見直す。 ・結果をまとめて発表し、計画の評価・改善を行う。 ・家庭や地域における新しい課題を見だし、製作計画を立てる。 ※A（2）幼児の生活と家族と関連を図り、幼児の生活を豊かにするための物を製作し、触れ合い体験等で活用することも考えられる。	タブレット端末（評価） 電子黒板（発表、共有）
	改善策を検討する。	「生活を豊かにするための工夫をしよう～布を用いた製作～」 ⑨家庭で実践し、家庭や地域で利用する。 ⑩実践の報告会を行う。 配慮事項 知識及び技能などを生活に生かし実践できるよう、 家庭や地域社会、企業などとの連携を図ります。	思考の過程や結果の可視化、考えたことの共有、情報収集、編集などの学習場面で活用します。
家庭・地域での実践	改善策を家庭・地域で実践する。		